

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	◎	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の影響で、飲食関連の需要が外食からスーパーマーケットにシフトしている。
	○	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・前月に引き続き、店頭売上の落ち込みを、外商売上がカバーし、前年同月を上回った。
	○	スーパー（店長）	単価の動き	・新型コロナウイルスによる買い込み需要の増大で1品単価及び客単価の上昇がみられる。
	○	コンビニ（商品担当）	お客様の様子	・第6波は余り生活に影響はなかった。また、好天が続いているため来客数は増加した。
	○	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・天候に恵まれ、来客数が増加した。
	○	家電量販店（副店長）	販売量の動き	・来客数は前年を下回っている状況が続いているが、主要商品の売上増加により販売計画を達成できている。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しないため、街の人出が極端に少なく、来客数も少ない。しかし、インターネットでの注文の宅配が増加している。
	□	スーパー（企画担当）	単価の動き	・食品全般で価格上昇の動きがあるため、先買いの状況が発生している。販売側も特売設定で前倒しの需要を狙っている。
	□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大がピークを迎えており来客数は減少している。
	□	乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・契約者数は例年どおりだが、半導体不足で新車の生産が追い付かず納車できない。状況は変わらない。
	□	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株によるまん延防止等重点措置や工場の稼働停止による半導体不足等で生産が回復せず、望んでも購買できない状況が継続している。
	□	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が適用され県民割も停止しており、来客数及びインターネットの予約も激減している。
	□	通信会社（営業部長）	来客数の動き	・来客数は減少しているが、新型コロナウイルスの感染拡大を気にしない人が多く、目的があれば購買してくれることから販売計画は達成できている。
	□	美容室（経営者）	お客様の様子	・身近なところでも新型コロナウイルス新規感染者数が増えてきたが、客は警戒しながらも来店している。
	□	設計事務所（所長）	単価の動き	・建築費は高止まり状況。
	▲	商店街（事務局長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数は高止まりしており、収束にはまだ1か月以上掛かるものとみられ、消費の好転には今しばらく時間を要する。あわせて、ガソリンや生活必需品の価格が上昇しており、消費者の日々の暮らしにおける財布のひもはますます固くなっている。
	▲	商店街（代表者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まり傾向で継続し、販売量の減少も続いている。レジャー産業としては、安心して利用できる環境にはまだ至っていないため、厳しい状況となっている。
	▲	商店街（代表者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染が地方にまでまん延し、沈静化する気配もなく、経済活動の休止も限界に来ている。これからは季節的にもいろいろな行事が再開されるが、ウィズコロナがどこまで浸透できるか非常に微妙なタイミングにある。
	▲	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数が高止まりしたままであり、来客数が回復しない。
	▲	百貨店（販売促進）	来客数の動き	・当県では、新型コロナウイルスの感染拡大により、まん延防止等重点措置は発出されていないが、自粛ムードとなっており来客数が減少している。
▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数が緩やかに減少し、売上も減少している。	
▲	コンビニ（総務）	来客数の動き	・前月は来客数が前年並みに持ち直しつつあったが、今月に入り来客数が減少し前年割れした。	

	▲	家電量販店（店員）	販売量の動き	・季節商材、新生活準備品等、全体的に伸び悩んでいる。
	▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の納車台数が前年末に想定した以上に遅延している。
	▲	通信会社（社員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、客から訪問販売を断られてしまう件数が増加している。
	▲	競輪競馬（マネージャー）	お客様の様子	・原油価格の高騰のあおりを受け物価上昇傾向に拍車がかかるとともに、新型コロナウイルスの感染拡大による「まん延防止等重点措置」が適用されたことから、イベントや行事の中止、旅行宿泊、飲食の手控え等が進み、人流や消費力が低下し、遊行意欲も減退しており景気はやや悪くなっている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の爆発的な感染及びまん延防止等重点措置の適用という事もあり、大企業の会食等が激減し飲食業を中心に大変苦しい状態である。厳しい状況がこのまま続く。
	×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・県内は、新型コロナウイルス新規感染者数の急増で、繁華街は日々人気もなく、飲食店への納品も激減している。この御時世なので飲食店にがぎわうとは思わないが、この先、不安しかない。
	×	百貨店（営業管理担当）	来客数の動き	・当県のまん延防止等重点措置の適用及び新型コロナウイルス新規感染者数の増加による影響を大きく受けた。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が急増し、一向に新規感染者数が減少しないからだとは思いますが、来客数が激減している。また、非常に購買意欲が低下している。
	×	衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響を受けた前年を大きく下回って推移している。まん延防止等重点措置の影響で来街者は少なく、売上が急激に減少しつつある。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大のなか来客数が減少し売上がない日が続いている。飲食業は協力金が支給されるため大いに助かっている。
	×	スナック（経営者）	それ以外	・まん延防止等重点措置の適用により事実上休業を余儀なくされている。
	×	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用により、来客数は大幅に減少。また、ウクライナ情勢による燃料等仕入価格の上昇により収益は圧迫されている。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・当県ではまん延防止等重点措置が適用されたことにより、夜の人出は全くなく、まるでゴーストタウンのようである。日中の利用客も少ない。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・当県は新型コロナウイルスの新規感染者数が依然高水準で推移しており、まん延防止等重点措置も継続しているため、夜の客の動きが一段と悪化している。昼の時間帯も客は少なく、前年の春頃並みに落ち込んでいる。
	×	美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置が適用されたことにより、人流が抑制され、来客が止まった。
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共、民間共に受注できた。
	□	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・受注は安定しているが、材料不足で生産性が落ち込んでいる。また、材料の価格高騰もあり、利益が大幅にダウンしていることから、コストアップの交渉を進めている。
	□	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・各国政府の経済対策により景気は回復基調であるものの、地域的なばらつきが大きく、総じて本格的な回復には至っていない。
	□	建設業（経営者）	それ以外	・年度末のしゅん工期になり完成工事高は増加しているが、特段の好景気感はなくなりつつある。新型コロナウイルスオミクロン株新規感染者数の急増に起因する閉塞感、エネルギーや商品の物価高に加え、ウクライナ情勢がこれに追い打ちを掛けており、急速な落ち込みを感じる。

	▲	鉄鋼業（総務部長）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、感染者以上に自宅待機者数が増え、生産活動に影響を与えている。
	▲	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・移動制限の期間が長すぎる。学生及び飲食関係ばかりが犠牲となっている。
	▲	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大に伴うまん延防止等重点措置の適用による行動制限が消費者の購買機会喪失につながっているためか、減少傾向で推移する発着取扱物量に復調の兆しは全く見受けられない。
	▲	輸送業（経理）	受注量や販売量の動き	・国内の荷動きは低水準で推移しており、海外向けは中国を中心に輸入輸出量が少なくなっている。
	▲	通信業（総務担当）	それ以外	・前月に続き、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う社外イベントの自粛や中止が続いており、依然として今後の状況改善の見通しが立たない。
	▲	通信業（企画・売上管理）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株が収束しておらず、交通、レジャー関係が控えめ。
	▲	金融業（副支店長）	取引先の様子	・新型コロナウイルス第6波の影響により、年明けから消費者動向が再度急激に鈍化。まん延防止等重点措置も適用され、先行き不透明感が拡大している。
	▲	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大によりまん延防止等重点措置が適用中であり、客先の販促計画が急きょ中止になるケースが増加している。
	▲	税理士事務所	取引先の様子	・売上減少が著しい。
	×	農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・消費に力強さが感じられない。一般消費も低調であり、業務需要は全く期待できない。青果物の価格は低調で推移している。
	×	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・特に飲食業、観光業に対する受注が激減している。
雇用 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス特需により、短期で大量の人材派遣依頼が増加している。
	○	職業安定所（求人開発）	それ以外	・有効求人倍率が3か月前と比較して増加しており、新型コロナウイルス発生前後の令和2年1月には届かないものの、若干持ち直している。
	○	民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・求人件数が前年と比較して1割程度増加している。
	□	人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染状況は高止まりの状態が続いているなか、土日祝日の流通、観光地、公共施設などに人が集まり始めている。夜の会食などはいまだ警戒自粛ムードが漂っており、飲食店は厳しい状況。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣のミスマッチも含め、派遣社員に対する需要が減少しつつある。
	▲	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・周辺企業では、観光、飲食、サービス業界を中心に売上、利益共に大幅に減少している。また、求職者数は増加しているが、求人難のほか、人材要件がマッチングせず景気は悪化している状況。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・来期の広告計画のなかで、客の広報拡大の話はない。
	▲	学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・新型コロナウイルスオミクロン株新規感染者数の急拡大と新規感染者数の高止まりの継続、まん延防止等重点措置の延長など、様々な面で経済活動への影響が懸念される。
		×	—	—